

やんばる東村アドベンチャーラリー2025

■ファミリークラス優勝チーム コメント



『タイガーズ』

昆野 晶子さん

「初めてのアドベンチャーレース」

夫は何度かアドベンチャーレースに出場したことがありましたが、私はアドベンチャーレースのスタッフとして、選手の皆さんが楽しそうに参加しているのを間近で見ていた側でした。

ちょうど、子供が小学生になったタイミングで東村のアドベンチャーレースが再開されることを知り、「いつか出てみたい」と夢見ていたことを実現させるにはとても良いタイミングでした。子供は親と同じく運動が好きな子で、「アドベンチャーレースに参加したい？」と尋ねると、二つ返事で「出る！！」と言ってくれました。

最初は「まだ小学1年生なので、あまり無理はさせられない。3時間くらい頑張ったらゴール出来たら良いかな。」としか思っていませんでした。夫はレースの経験者なので、地図読みは得意です。全ポイントは絶対に回れないのはスタッフ時代の経験から分かっていたので、チームチャレンジの中の「シーカヤック」と「火起こし」だけは子供に経験させてあげたい、それだけを伝え、どこからどのように回るかは全て夫に任せました。私は子供の様子を見ながら、水分や栄養補給、励ましなど、子供サポートに徹しました。時には抱っこして歩きましたよ（これもチームの戦略です！）。

3時間で終了しようと思っていたのが、あっという間に3時間が経ち、制限時間残り30分で、シーカヤックポイントに到着しました。ここで夫の筋肉が役立ちました（笑）。他のチームをどんどん追い越し、あっという間にポイントを折り返し、戻ってきたのです。

火起こしも順調にクリアし、ゴールを目指し、「走れ！！」の掛け声の元、かなり疲れていたはずの子供が走り出しました。走りながら、ゴール手前のポイント取りに行くか、やめておくかの選択を子供に託すと、「行く！！！」との返事。正直、私もかなり疲れていたもので、行か

なくていいのではと思っていたところの「行く！」の返事でした。子供が行くのに私が行かないわけにはいかないと、最後のポイントも取りに行きました。

「漢字当てゲーム」もすぐにクリアし、またもや「走れ！！！！」の掛け声の元、子供が勢いよく走り出し、私も置いてかれまいと走りました。

ゴール手前が長い上り坂。子供が歩き出したら、私も歩こうと思っていたら、子供は途中、止まることはあったものの、すぐに走り出し、ゴールを目指しました。私のせいで遅れては申し訳ないと、必死に最後の上り坂を走りました。

制限時間の7分前に着き、5分前のボーナスポイントももらい、ゴール出来ました。

家族一丸となってゴール出来たこと、最後の追い込みで子供が想像以上に頑張ったこと、それだけでも朝早く家を出て、東村まで来た甲斐がありました。思いもよらず優勝できたことは、子供にとって大きな喜びと自信につながったと思います。

よっぽど優勝が嬉しかったのか、その日の晩、優勝賞品でもらった高級！？寝袋（-28度にも耐えられる）で子供は寝ていました。（さすがに沖縄では暑かったようで、夜中何度も寝袋の中から出てきていました）

「来年もアドベンチャーレースに出る人??」に、もちろん「はい！！」と。

来年は連覇目指して頑張ります！！

